

2 教育・文化施設

大ー⑰ ほくしか鹿鳴ホール「市民文化会館」

昭和57年の開館以来、芸術文化を通じて豊かで潤いのある市民生活に貢献することを目指してきた大館市民文化会館は、平成31年度にネーミングライツ（命名権）を導入し、「ほくしか鹿鳴ホール」と愛称が付けられた。多彩で良質な鑑賞機会と参加機会の提供、子どもたちへの積極的な働きかけにより、文化芸術の普及と振興、次世代の文化の担い手育成に努める。

- (1) 名 称 大館市民文化会館（TEL49 - 7066・FAX49 - 7069）
 (2) 所 在 地 大館市字桜町南45 - 1
 (3) 工 期 昭55. 9. 24～57. 2. 25
 (4) 開 館 昭57. 6. 27
 (5) 設 計 (株)佐藤武夫設計事務所
 (6) 施 工 者 建 築 工 事：(株)間組・丸山建設(株)建設共同企業体
 空 調 設 備 工 事：大阪電気暖房(株)・大館桂工業(株)建設共同企業体
 電 気 設 備 工 事：(株)岡野・東北電気工事(株)建設共同企業体
 給排水衛生設備工事：大進工機(株) 舞台機構設備工事：三精輸送機(株)
 舞台照明設備工事：丸茂電気(株) 舞台音響設備工事：日本ビクター(株)
 客席椅子設備工事：(株)間組 電波障害解消工事：東北電気工事(株)
 (7) 面 積 敷地 18,357㎡ 建物 5,074.8㎡ 建物延べ面積 6,381.7㎡
 (8) 建物構造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地下1階、地上3階、塔屋1階
 (9) 総事業費 2,424,218千円

建設費（千円）		財 源（千円）	
本体工事費	1,745,600	国庫補助金	85,000
舞台等特殊工費費	363,700	県補助金	85,000
外構工事	104,700	基金繰入金	1,045,000
その他	210,218	地方債	1,194,500
		一般財源	14,718
計	2,424,218	計	2,424,218

(10) 施設の概要

大ホール

- ・収容人員 1,198人（ほかに車椅子用スペース 4、母子席 4）
- ・舞 台 間口18m、奥行16.5m、高さ8.5m
- ・吊 物 どん帳 1、変型絞りどん帳 1、音響反射板一式、その他吊物一式
- ・そ の 他 花道、オーケストラピット、楽屋 3、ホワイエ、ピアノ 2

中ホール

- ・収容人員 414人（ほかに車椅子用スペース 2）
- ・舞 台 間口9m、奥行9m、高さ5m
- ・吊 物 どん帳 1、変型絞りどん帳 1、音響反射板一式、その他吊物一式

会議室

- ・第1会議室 65㎡（洋室） ・第2会議室 30畳（和室）

展示室

- 215㎡（スライディングウォール式）
- ・固定壁面 60m ・パネル壁面 82m

その他

- 練習室 3、リハーサル室 1、シャワー室 1、エントランスホール、ピアノ 1、駐車場 215台収容、クーリングタワー、前庭、中庭、機械諸室、事務室ほか

(11) 管理運営

- 指定管理者：一般財団法人 大館市文教振興事業団
- ネーミングライツ・パートナー：株式会社 北鹿

(12) 職 員 館長、職員 4 人

(13) 基本利用料金（消費税込）

区 分			午 前	午 後	夜 間	全 日
			午前 9 時～ 午後 0 時30分	午後 1 時30分 ～ 午後 5 時	午後 6 時～ 午後 9 時30分	午前 9 時～ 午後 9 時30分
大 ホ ・ ル	ホール	平 日	12,350円	16,830円	21,320円	46,010円
		土・日・祝日	15,710	21,320	25,810	57,230
	楽 屋 事 務 室		450	450	450	1,350
	第 1	楽 屋	790	790	790	2,360
	第 2	楽 屋	1,010	1,010	1,010	3,030
	第 3	楽 屋	1,010	1,010	1,010	3,030
	主 催 者 控 室		570	570	570	1,690
	シ ャ ワ ー 室		1,130	1,130	1,130	3,370
中 ホ ・ ル	ホール	平 日	3,370	5,610	6,740	13,470
		土・日・祝日	4,490	6,740	7,860	17,960
	楽 屋 事 務 室		450	450	450	1,350
	第 4	楽 屋	790	790	790	2,360
	第 5	楽 屋	900	900	900	2,700
第 1 会 議 室（ 洋 室 ）			1,010	1,350	1,690	3,370
第 2 会 議 室（ 和 室 ）			1,350	1,800	2,250	4,490
第 1 練 習 室			570	790	1,010	2,140
第 2 練 習 室			570	790	1,010	2,140
第 3 練 習 室			680	900	1,130	2,250
リ ハ ー サ ル 室			1,010	1,350	1,690	3,370
展 示 室			1,350	1,800	2,250	4,490

備 考

午前及び午後、または午後及び夜間を引き続き使用する場合は、それぞれの区分の基本利用料金を加算した利用料金。

冷暖房料は、基本利用料金の 6 割 4 分の利用料金。

仕込み、練習のため、ホールの舞台のみを使用する場合は、基本利用料金の 5 割の利用料金。

使用者が入場料等を徴収する場合は、当該基本利用料金に次の区分に掲げる割増額を加算した利用料金。ただし、使用者が市内の学校、または市長が適当と認める市内の芸術文化団体で、営利を目的としない使用であると認められる場合は、割増額を加算しないことができる。（入場料等が２種類以上の場合は、最高の額を基準として算定する。）

入 場 料 等 の 額	割 増 額
(ア) 500円以上1,000円未満	5 割
(イ) 1,000円以上2,000円未満	8 割
(ウ) 2,000円以上	10 割
(エ) 徴収しないが、営利を目的としての使用の場合	10 割

延長または繰り上げの場合は、次の区分による利用料金に３割を乗じて算定した利用料金

延 長 ま た は 繰 り 上 げ 区 分	使用料の区分（冷暖房料を含む）
午前８時～午前９時までの使用	午前の利用料金
午後０時３０分～午後１時３０分までの使用	午後の利用料金
午後５時～午後６時の使用	夜間の利用料金
午後９時３０分～午後１０時３０分までの使用	〃

(14) 利用状況（令和６年度）

室 名	利用可能日数	利用日数	利用率	延べ利用人数
大 ホ ー ル	292	119	40.75%	34,890
中 ホ ー ル	294	112	38.10%	13,375
第 1 会 議 室	307	88	28.66%	806
第 2 会 議 室	307	39	12.70%	514
第 1 練 習 室	307	152	49.51%	1,225
第 2 練 習 室	307	179	58.31%	1,807
第 3 練 習 室	307	111	36.16%	1,852
リハーサル室	307	157	51.14%	2,516
展 示 室	307	176	57.33%	12,090
全 館	2,735	1,133	41.43%	69,075

利用率＝小数点3位以下四捨五入

大-⑱

大館市民交流センター

- (1) 名 称 大館市民交流センター (TEL49 - 7028)
- (2) 所 在 地 大館市根下戸新町 6 - 13
- (3) 工 期 昭56. 8 .13 ~ 57. 3 .15
- (4) 開 館 昭57. 4 . 1
- (5) 設 計 (株)恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施 工 者 本 体 工 事 : (株)伊藤組
電 気 設 備 工 事 : 東北電気工事(株)
給排水衛生設備工事 : 大進工機(株)
- (7) 敷地面積 1,651.0m²
- (8) 建物面積 866.55m² (1階 440.85m²、 2階 425.70m²)
- (9) 建物構造 鉄筋コンクリート 2階建
- (10) 総事業費 173,050千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	108,200	国 庫 補 助 金	30,000
電 気 設 備 工 費 費	11,650	県 補 助 金	30,000
給排水設備工費費	41,310	地 方 債	98,000
附 帯 工 事 費	3,838	一 般 財 源	15,050
そ の 他 工 事 費	150		
委 託 料	6,513		
その他事務費等	1,389		
計	173,050	計	173,050

- (11) 施設の概要
- 1 階 収容人員 270人
休憩室、第3研修室、調理室、木育ひろば、木のぬくもりホールるるる、
談話コーナー、図書コーナー、事務室、倉庫ほか
- 2 階 第1研修室、第2研修室(和室)、会議室、多目的室、茶室ほか
- (12) 管理運営 大館市教育委員会(大館市民交流センター 会計年度任用職員4人)
- (13) 開館時間 月~金曜日...午前9時~午後9時、土曜日...午前9時~午後5時
- (14) 休館日 日曜日、祝日、12月29日~1月3日
- (15) 使用料 無 料
- (16) 利用状況(令和6年度)
- ・利用件数 2,128件(うち木育ひろば 545件)
 - ・利用人数 10,994人(うち木育ひろば1,490人)
 - ・サークル数 37サークル
 - ・サークル会員数 291人

大-⑱

中 央 公 民 館

- (1) 名 称 大館市立中央公民館 (TEL42 - 4369)
- (2) 所 在 地 大館市字桜町南45 - 1
- (3) 工 期 昭60. 6. 22 ~ 61. 1. 27
- (4) 竣 工 昭61. 1. 29
- (5) 設 計 (株)恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施 工 者 建 物 工 事 : (株)伊藤組・ダイユウハウス(株)建設共同企業体
電 気 設 備 工 事 : 秋北電設協業組合
衛生冷房設備工事 : 古家燃料(株)
- (7) 面 積 敷地 16,648㎡ (ほくしか鹿鳴ホール (文化会館) 敷地も含む) 建物 2,793.50㎡
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造 2階建
- (9) 総事業費 627,223千円

建設費 (千円)		財 源 (千円)	
建物工事費	422,000	国庫補助金	96,000
衛生設備工事費	17,900	県補助金	32,000
冷暖房設備工事費	48,000	地方債	322,000
電気設備工事費	63,000	一般財源	177,223
その他附帯工事費	76,323		
計	627,223	計	627,223

- (10) 施設の概要 1階 1,502㎡...第1研修室 81㎡、第2研修室 81㎡、児童室 81㎡、
展示室 244㎡、美術工作室 90㎡、調理室 90㎡、
市民ホールほか 835㎡
2階 1,292㎡...第3研修室 83㎡、第4研修室 83㎡、第5研修室 46㎡、
第6研修室 52㎡、視聴覚ホール 405㎡、
視聴覚製作室 135㎡、視聴覚準備室 40㎡、
視聴覚ホール前室 43㎡、その他 405㎡

<旧サン・アビリティーズ大館 (大館勤労身体障害者教養文化体育館施設) >

- (11) 工 期 昭60. 2. 28 ~ 60.11.10
- (12) 開 館 昭60.11.15
- (13) 設 計 小畑勇設計事務所
- (14) 施 工 者 丸山建設(株)・(株)伊藤組建設共同企業体
- (15) 面 積 建物 1,640.45㎡
- (16) 建物構造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造平家建
- (17) 総事業費 357,129千円

建設費 (千円)		財 源 (千円)	
本体工事費	280,000	雇用促進事業団補助金	280,000
附帯工事費	32,230	一般財源	77,129
用地費	28,400		
その他	16,499		
計	357,129	計	357,129

- (18) 施設の概要 多目的室 62㎡、音楽室 44㎡、教養文化室 81㎡、体育室 792㎡、その他
平成15年度に雇用・能力開発機構から本市に譲渡されたことにより、中央公民館
の施設として統合した。
- (19) 開館時間 午前9時~午後9時30分
- (20) 休館日 第3月曜日 (祝日に当たるときは翌平日) 12月29日~1月3日

(21) 利用状況(令和6年度)

- ・利用件数 7,029件 ・利用人員 81,440人(うち身体障害者 494人)
- ・サークル数 148団体 1,784人

大-20

あやめ苑

あやめ苑は釈迦内鉱山(株)の鉱山クラブであった施設で、同社から生涯学習に役立ててほしいと大館市に無償譲渡されたため、釈迦内公民館敷地内に移築復元したものである。内部には水屋があるため茶道の教室に利用でき、また釈迦内鉱山の資料も常設展示されているため鉱山の概要も学習できるようになっており、釈迦内公民館及びふれあい広場と合わせ、釈迦内地区はもとより全市民の生涯学習の場となっている。

- (1) 名称 大館市立あやめ苑 (TEL43 - 7117)
- (2) 所在地 大館市釈迦内字上大留 6 (釈迦内公民館敷地内)
- (3) 工期 平4.3.7 ~ 4.3.30 (解体工事)
平4.7.31 ~ 5.2.19 (復元工事)
- (4) 開設 平5.4.1
- (5) 設計 大館市(都市開発課)
- (6) 施工者 解体工事: 沓澤建設(株) 復元工事: 沓澤建設(株)
- (7) 面積 建物 208.96㎡
- (8) 建物構造 木造平家建銅板葺
- (9) 事業費 46,071千円 (解体工事費 5,798千円、復元工事費 40,273千円)
- (10) 施設の概要 和室 5 室 (8 畳 1 室、11.5 畳 1 室、6 畳 2 室、5 畳 1 室)、洋室 21.53㎡、
鉱山資料室 16.56㎡、水屋、台所、納戸
- (11) 管理運営 大館市教育委員会 (釈迦内公民館)
- (12) 利用時間 午前 9 時 ~ 午後 9 時
- (13) 休館日 祝日、年末年始
- (14) 利用料金

区 分	使 用 料
和 室	1 室 1 時間につき 1 1 0 円
会 議 室	1 時間につき 1 1 0 円
暖 房 料 及 び 燃 料 費 は 、 実 費 負 担	

(市長が特別の理由があると認めるとき使用料を減免することができる)

(15) 利用状況(令和6年度)

- ・利用件数 26件 ・利用人員 153人

大-②①

大館市北地区コミュニティセンター

大館市北地区コミュニティセンターは、教養・文化・研修並びにスポーツ等の活動の場を提供することにより、市民の福祉の増進を図ることを目的に設置。

- (1) 名 称 **大館市北地区コミュニティセンター** (TEL45 - 0515・FAX45 - 0530)
- (2) 所 在 地 大館市有浦一丁目 8 - 1 5
- (3) 開 設 平 9 .12. 1
- (4) 面 積 敷地 6,632.98㎡
本館 (旧サンクレア大館部分)建築 1,182.5㎡ 延床面積1092.5㎡
別館 (旧職訓センター部分)延床面積 966.37㎡
- (5) 構 造 本館 (旧サンクレア大館部分)鉄筋コンクリート一部鉄骨造平家建
別館 (旧職訓センター部分)鉄筋コンクリート造 2 階建
- (6) 施設の概要
本館 旧サンクレア大館部分
多目的ホール 240.00㎡、
和 室(水屋有) 56.025㎡(20畳) 24人収容、
創作実習室 90.00㎡ 30人収容、音楽室 56.00㎡ 20人収容、
研修室 86.40㎡ 44人収容、会議室 60.00㎡ 24人収容、調理室 39.30㎡ 12人収容
談話コーナー 42.00㎡ 全館冷暖房完備 駐車場30台
別館 旧職訓センター部分 1 階
玄関 19.64㎡、ホール・ロビー 111.20㎡、事務室 27.03㎡、
教官室 23.02㎡、機械室 23.20㎡、湯沸室 6.20㎡、有浦児童館分館 269.21㎡
別館 旧職訓センター部分 2 階
ホール 135.24㎡、多目的室 205.44㎡ 90人収容(椅子のみ120人)、
小会議室 26.35㎡ 10人収容、中会議室 51.700㎡ 21人収容、
倉庫 30.17㎡、湯沸室 30.17㎡、全館冷暖房完備 駐車場70台
- (7) 工 事 費
本館 旧サンクレア大館部分
建物工事 357,000,000円 (雇用促進事業団)
外溝工事 19,040,000円 (大館市)
別館 旧職訓センター部分
建物工事 270,890,000円 (雇用促進事業団)
外溝工事 25,045,480円 (大館市)
- (8) 管 理 運 営 指定管理者：株式会社 やたて

(9) 利用料金

室 名	室 料 (1時間につき)	冷 暖 房 料 (1時間につき)
多 目 的 ホ ー ル	個人 110円	120円
	専用 330円	
会 議 室 研 修 室 創 作 実 習 室 音 楽 室 和 調 理 室	170円	
小 会 議 室 中 会 議 室	220円	
多 目 的 室	550円	240円

備考 1時間に満たないときは、1時間とみなす。

営利を目的として使用する場合は、各室1時間につき各施設利用料金の5倍の額とする。

(10) 器具使用料

施 設 設 備 名	単 位	金 額
ピ ア ノ	1 時間	220円
プ ロ ジ ェ ク タ ー	1 時間	220円
放 送 機 材	1 時間	220円
フ ロ ア シ ー ト	1 回	550円
七 宝 電 気 炉	1 回	110円
電 磁 調 理 器	1 時間	60円
ガ ス コ ン ロ	1 時間	170円

備考 1時間に満たないときは、1時間とみなす。

(11) 開館時間 午前9時～午後9時

(12) 休館日 12月29日～翌年1月3日

上記のほか、臨時に休館する場合がある。

(13) 利用状況(令和6年度)

・利用件数 2,455件 ・利用人員 66,499人
(うち別館 ・利用件数 267件 ・利用人員 18,435人)

大-②

栗 盛 記 念 図 書 館

- (1) 名 称 大館市立栗盛記念図書館 (TEL42 - 2525・FAX42 - 3329)
- (2) 所 在 地 大館市字谷地町13
- (3) 工 期 昭57. 7. 22~58. 3. 25、(増築 平28. 8. 22~29. 3. 24)
- (4) 開 館 昭58. 9. 1
- (5) 設 計 (株)佐藤武夫設計事務所、(増築 (株)恒谷汲川建築設計事務所)
- (6) 施 工 者 建 物 工 事 : (株)大成工務店、(増築 丸山建設株)
電 気 設 備 工 事 : 東北電気工事株 (増築 奥羽電気設備株)
給排水衛生設備工事 : 大滝施設工業株
機 械 設 備 工 事 : (増築 アンゼン設備株)
- (7) 面 積 敷地 4,426.78㎡ 建物 1,249.97㎡ 延床 2,242.58㎡
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造3階建、地下1階
- (9) 総事業費 476,078千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	324,000	国 庫 補 助 金	75,000
電 気 設 備 工 事 費	59,000	県 補 助 金	22,000
給排水機械設備工事費	63,795	地 方 債	320,000
委 託 料	23,855	一 般 財 源	59,078
樹 木 移 転 工 事 費	3,063		
備 品 、 事 務 費	2,365		
計	476,078	計	476,078

増築 (松下村塾解体・新築工事含む) 187,977千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	103,680	地 方 債	152,000
電 気 設 備 工 事 費	11,880	一 般 財 源	35,977
機 械 設 備 工 事 費	25,726		
委 託 料	9,058		
そ の 他 経 費	37,633		
計	187,977	計	187,977

- (10) 施設の概要 1階.....児童図書室 271.21㎡、成人図書室 381.90㎡、談話コーナー 79.24㎡、
移動図書館室 114.52㎡、多目的室 144.89㎡、先人コーナー 43.47㎡
その他 157.04㎡
- 2階.....資料室 113.57㎡、参考図書館室 76.65㎡、会議室 40.75㎡、
視聴覚・録音室 57.79㎡、事務室 70.66㎡、資料保管室 51.75㎡、
閉架書庫 226.56㎡、その他 239.08㎡
- 3階.....機械室 127.87㎡
- 地下.....機械室 45.63㎡
- (11) 開 館 時 間 午前9時30分~午後7時 (火曜日~金曜日)
午前9時30分~午後5時 (土・日・祝日)
- (12) 休 館 日 月曜日・年末年始・蔵書点検期間 (10月上旬)

大-②

松 下 村 塾

大館市松下村塾は、昭和59年に財団法人大館鳳鳴高等学校振興会により北神明町に竣工。当時の振興会顧問である竹村吉右衛門氏が、郷里から立派な教育者や、大きな志を持って世界に羽ばたく青少年を輩出したいという願いから、自ら企画し私財を投じたもので、全国に7棟ある模築のうち4番目に完成。

その後、平成26年に松下村塾は財団法人大館鳳鳴高等学校振興会より大館市へ寄贈され、平成29年に竹村吉右衛門氏の志を受け継ぎつつ、学習の場として利用することを目的に、図書館敷地内に移設。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 名 称 | 大館市松下村塾（栗盛記念図書館 TEL42 - 2525・FAX42 - 3329） |
| (2) 所 在 地 | 大館市字谷地町12 |
| (3) 工 期 | 平28. 8 .22～29. 3 .24 |
| (4) 開 館 | 平29. 4 . 4 |
| (5) 設 計 | (株)恒谷汲川建築設計事務所 |
| (6) 施 工 者 | 建 物 工 事：丸山建設(株)
電 気 設 備 工 事：奥羽電気設備(株)
機 械 設 備 工 事：アンゼン設備(株) |
| (7) 面 積 | 建物 60.29㎡ 延床 45.31㎡ |
| (8) 建 物 構 造 | 木造平家建 |
| (9) 総 事 業 費 | 15,414千円 |
| (10) 施設の概要 | 和室18.5帖、土間、押入れ、屋根裏部屋収納 |
| (11) 開 館 時 間 | 午前9時～午後5時 |
| (12) 休 館 日 | 月曜日・年末年始・蔵書点検期間（10月上旬） |
| (13) 利 用 状 況 | （令和6年度）
・利用件数 68件 ・利用人員 560人 |



大-②③

花 矢 図 書 館

- (1) 名 称 大館市立花矢図書館 (TEL・FAX46 - 1557)
- (2) 所 在 地 大館市花岡町字前田162番地 3
- (3) 面 積 敷地 1,575.3m² 床面積 154.9m²
- (4) 建 物 構 造 木造カラー鉄板葺平家建
- (5) 施設の概要 一般図書室、児童コーナー、参考図書コーナー、図書事務室
- (6) 開 館 時 間 午前9時～午後7時(火曜日～金曜日) 午前9時～午後5時(土・日曜日)
- (7) 休 館 日 月曜日・祝日・年末年始

田-④

田 代 図 書 館

- (1) 名 称 大館市立田代図書館 (TEL43 - 7127)
- (2) 所 在 地 大館市字早口字上野34-1
- (3) 工 期 昭54. 6. 26～54.12. 20
- (4) 開 館 昭55. 1
- (5) 設 計 小畑勇設計事務所
- (6) 施 工 者 建 物 工 事 : (株)伊藤組
衛生暖房設備工事 : 大館桂工業株
電 気 設 備 工 事 : (資)小畑電気商会
- (7) 建築延面積 720.74m²
- (8) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造地上3階、地下1階
- (9) 総事業費 120,605千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	86,500	国 庫 補 助 金	21,000
衛生暖房設備工事費	11,700	地 方 債	68,000
電 気 設 備 工 事 費	8,000	一 般 財 源	31,605
附 帯 工 事 費	4,428		
設 計 管 理 費	3,985		
調 度 備 品 費	5,392		
事 務 費	600		
計	120,605	計	120,605

- (10) 施設の概要
- 1 階.....事務室 29.413m²、児童閲覧室 40.788m²、
幼児コーナー 14.788m²、玄関・ホール 44.125m²
- 1・2 階.....便所・手洗 41.950m²
- 2 階.....一般閲覧室 141.593m²
- 3 階.....視聴覚室 75.075m²、研修室 61.255m²、物置 15.000m²
廊下 12.500m²、
地 下.....書庫 149.375m²
全館階段踊り場.....94.878m²
- (11) 開 館 時 間 午前9時～午後7時(火曜日～金曜日)
午前9時～午後5時(土・日曜日)
- (12) 休 館 日 月曜日・祝日・年末年始

大-②④、②⑤、②⑥ 児 童 セ ン タ ー

児童の健康増進及び情操を豊かにするため、運動に親しむ習慣の形成並びに地域との交流のため、留守家庭児童等を対象とする放課後児童クラブを推進するために設置。

(1) 名 称	大館市桂城児童センター (TEL49 - 4708)	大館市釈迦内児童センター (TEL48 - 4486)	大館市城西児童センター (TEL43-6153)
(2) 所 在 地	大館市水門町 1 - 5	大館市釈迦内字相染台24	大館市城西町 8 - 1
(3) 工 期	昭56. 8 . 3 ~56.11.30	昭62. 9 . 8 ~63. 2 .24	平14. 9 .19~15. 7 .25
(4) 開 館	昭56.12. 1	昭63. 4 . 1	平15. 8 . 1
(5) 設 計	(有)佐藤士郎建築設計事務所	(有)時代建築設計事務所	アーキテクト・21設計共同企業体
(6) 施 工 者	建 物 工 事：中央建設(株) 電気設備工事： 奥羽電気設備(株) 給排水衛生設備工事： 堺谷施設(株)	建 物 工 事：片岡・殿村JV (JV=特定建設工事共同企業体) 電気設備工事： (有)狩野電気工業所 機械設備工事：(有)多賀谷鉄工	建 物 工 事：丸山・大成・工藤JV 電気設備工事：大館桂・羽後・桂JV 給排水衛生設備工事：古家燃料・アンゼンJV 暖冷房設備工事：大館桂・巽JV 受変電設備：奥羽電気設備株式会社
(7) 面 積	敷地 989㎡ 建物 500㎡	敷地 5,742㎡ 建物 397㎡	敷地21,509㎡ 建物 407㎡
(8) 建 物 構 造	鉄骨平家建	鉄骨・ブロック造平家建	鉄筋コンクリート造
(9) 総 事 業 費	60,308千円	52,155千円	109,421千円
	建 設 費	建物工事費 49,880 給排水設備工事費 6,710 給排水衛生設備工事費 2,540 外構工事費 1,178	建物工事費 74,932 給排水衛生設備工事費 4,723 暖冷房設備工事費 9,135 電気設備工事費 10,142 受変電設備工事費 2,152 設備整備費・その他 8,337
	財 源	国庫補助金 9,740 県補助金 9,740 一般財源 40,828	国庫補助金 20,790 県補助金 20,790 地方債 50,400 一般財源 17,441
(10) 施設の概要	遊戯室 180㎡、集会室 81㎡、 図書室 67㎡、事務室 23㎡、 休憩室 16㎡、湯沸室 9㎡、 器具庫ほか 124㎡	遊 戯 室 182㎡、 集 会 室 66.5㎡、 図 書 室 31.5㎡、 事 務 室 27㎡、 器具庫ほか 90㎡	児童クラブ室 46㎡、遊戯室 137㎡、図書室 14㎡、職員 室 21㎡、子育て支援相談室 6㎡、地域交流スペース 16 ㎡、創作活動室 33㎡、集会 室 34㎡
(11) 管 理 運 営	大館市教育委員会(生涯学習課)		
(12) 収 容 人 員	70人	70人	70人
(13) 利 用 状 況 (令和6年度)	児童育成クラブ 18,203人 体力増進クラブ 1,030人 書道・体操サークル等 1,223人	児童育成クラブ 11,332人 体力増進クラブ 422人	児童育成クラブ 19,105人 体力増進クラブ 1,909人 ユニカールサークル 675人

大―②⑦、②⑧、②⑨

児 童 会 館

留守家庭児童等を対象とする放課後児童クラブを推進するために設置。

(1)名 称	大館市有浦児童会館 (TEL49 - 4420)		大館市有浦児童会館分館(TEL42 - 3131)		
(2)所 在 地	大館市有浦 4 丁目 6 - 4 3		大館市有浦 1 丁目 8 - 3 3		
(3)開 館	平19.11.1		平24.3.21		
(4)面 積	敷地 1,432㎡ 建物 350.93㎡		敷地 269.21㎡ 建物 269.21㎡		
(5)建 物 構 造	鉄骨造一部木造		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 2 階建 1 階部分の一部		
(6)施設の概要	遊戯室180.34㎡ 集いの広場57.96㎡ 事務室 16.56㎡		集会室(1) 123.30㎡ 集会室(2) 54.49㎡ 事務室 20.98㎡		
(7)管 理 運 営	大館市教育委員会 (生涯学習課)				
(8)収 容 人 員	70人		70人		
(9)利 用 状 況 ・ 令 和 6 年 度	区 分	児童育成クラブ (月～土)	一般利用	児童育成クラブ (月～土)	市主催事業
	指 導 者	4人	-	4人	-
	登録者数	87人	-	73人	-
	開 催 数	287回	419回	286回	-
	利用者数	13,794人	2,607人	10,306人	-
	備 考		遊戯室の貸館		

(1)名 称	大館市城南児童会館(TEL42 - 8719)		
(2)所 在 地	大館市字桜町 7 - 2		
(3)開 館	平11. 4 . 1 (平24.3.5改修)		
(4)面 積	敷地 1,470.12㎡ 建物 236.73㎡		
(5)建 物 構 造	木造平家建		
(6)施設の概要	集会室(1) 17.66㎡ 集会室(2) 111.79㎡ 事務室 10.97㎡ 図書室 14.90㎡		
(7)管 理 運 営	大館市教育委員会 (生涯学習課)		
(8)収 容 人 員	70人		
(9)利 用 状 況 ・ 令 和 6 年 度	区 分	児童育成クラブ (月～土)	市主催事業
	指 導 者	4人	-
	登録者数	51人	-
	開 催 数	289回	-
	利用者数	7,497人	-
	備 考		



大館市有浦児童会館



大館市有浦児童会館

大-③

大 館 郷 土 博 物 館

大館の自然環境の中で先人たちがいかに歩んできたかを、自然・産業・歴史・民俗・美術工芸の分野から紹介するとともに、そこから生まれ育まれてきた風土・文化を多くの皆さんに伝え、郷土を理解していただくため、平成8年4月25日に開館した。平成9年には子どもたちの科学への興味を育む施設として「こども科学室」を開設した。同時に大館少年少女発明クラブを博物館活動の一環として運営。平成12年4月25日「曲げわっぱ展示室」を開設した。また、平成30年には耐震補強工事を実施した。

- (1) 名 称 大館郷土博物館 (TEL43 - 7133・FAX48 - 2512)
- (2) 所 在 地 大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地
- (3) 工 期 平6.8.15～
- (4) 開 館 平8.4.25
- (5) 設 計 (有)時代建築設計事務所
- (6) 施 工 者 建 物 工 事：丸山建設(株)
電 気 設 備 工 事：(株)ユアテック・桂電気工事(有)
給排水衛生設備工事：(株)越国商舗・大館桂工業(株)
- (7) 面 積 敷地 30,345.00㎡ 建物 6,015.90㎡
- (8) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート3階建
- (9) 総 事 業 費 427,000千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	351,000	県 振 興 資 金	20,000
電 気 設 備 工 事 費	46,000	地 方 債	251,800
給排水衛生設備工事費	30,000	一 般 財 源	155,200
計	427,000	計	427,000

- (10) 施設の概要 展示館 1,453.95㎡、こども科学室 610.56㎡、美術展示室 456.22㎡、
曲げわっぱ展示室162.00㎡、貴重品収蔵庫 74.38㎡、収蔵庫 1,237.50㎡、
駐車場 50台 (秋田三鶏記念館と共用)
旧県立大館東高等学校の校舎を平成5年2月1日に譲り受け、博物館施設として建設
- (11) 開 館 時 間 午前9時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)
- (12) 休 館 日 毎週月曜日 (この日が祝休日の場合は翌日) 年末年始 (12/29～1/3)
- (13) 入 館 料

区 分	個人料金	団体料金
一 般	330円	1人につき 220円
高 校 生 ・ 大 学 生	220円	1人につき 110円
小 ・ 中 学 生	110円	1人につき 50円

未就学児、市内の小・中学生は無料とする。ただし、特別展を除く。

団体料金は15人以上の団体に適用する。ただし、未就学児、市内の小・中学生は団体に含まない。

- (14) 利 用 状 況 (令和6年度)
- ・入館者数 4,250人 (1日平均 14人)

大-③①

秋 田 三 鶏 記 念 館

国指定天然記念物「声良鶏」「比内鶏」と秋田県指定天然記念物「金八鶏」の三鶏を総称し「秋田三鶏」と呼ぶ。秋田三鶏は秋田県の県北地方、特に米代川中流域の大館地方で古くから飼われ、親しまれてきた家禽である。この秋田三鶏の増殖を図り、天然記念物としての血統を守り、多くの方々に秋田三鶏を知り親しんでもらうために建設された。

- | | |
|------------|--|
| (1) 名 称 | 秋田三鶏記念館 (TEL43 - 7133 郷土博物館) |
| (2) 所 在 地 | 大館市釈迦内字獅子ヶ森 1 番地 |
| (3) 工 期 | 平21. 7.24 ~ |
| (4) 開 館 | 平22. 4. 1 |
| (5) 設 計 | (有)アトリ工建築設計室 |
| (6) 施 工 者 | (有)成田組 |
| (7) 建物面積 | 142.43m ² |
| (8) 建物構造 | 木造平家建 |
| (9) 総事業費 | 17,800千円 |
| (10) 施設の概要 | 選別検定作業室69.56m ² 、ふ卵室6.98m ² 、育雛室7.91m ² 、
飼育室57.98m ² 、駐車場50台（大館郷土博物館と共用） |
| (11) 管理運営 | 大館市教育委員会（歴史文化課） |
| (12) 開館期間 | 4月1日～11月30日（冬期間は閉館） |
| (13) 開館時間 | 午前9時～午後4時30分 |
| (14) 休 館 日 | 毎週月曜日（この日が祝休日の場合は翌日） |
| (15) 入 館 料 | 無料 |



大-③②

鳥 潟 会 館

鳥潟家は慶長年間から400年余の歴史をもつ旧家であり、旧花岡村で代々肝煎を務めてきた。8,000㎡を超える広大な敷地に建つ建物及び庭園は、京都帝国大学名誉教授（医学部長・日本外科学会会長）の鳥潟隆三博士によって京風の意匠を取り入れられ、現在のかたちに整備された。

主屋は昭和11年に増改築上棟式が行われ、新座敷、離れ、二階茶室などに京風の意匠が取り入れられた。旧屋部分には、ちょうな削りの柱が多数見られるなど当時の旧材がいたるところに使用されているのが特徴である。

庭園は同時期に京都の名門植治 7 代目小川治兵衛の門弟であった粕谷幸作が作庭している。庭園は回遊式庭園であり、池を中心とした地割がよく計画され、石組にも京風の手法が見られる。各地から吟味された良材が取り寄せられ、幅 3 m を超える鞍馬石や直径 1 m を超える伽藍石などが使用されている。

中門などの建造物には、京都を中心に活躍した成行兼太郎が大工棟梁として携わっている。

昭和26年に当時の花岡町へ寄贈され「鳥潟会館」として一般の使用に開放、昭和54年 9 月「郷土資料庫」を併設した。

平成23年 3 月には、鳥潟会館（旧鳥潟家住宅）の建造物 8 棟が秋田県指定文化財（有形文化財）に、庭園が秋田県指定名勝に指定された。

令和 6 年10月には、庭園が「鳥潟会館庭園」として国名勝に指定された。

- (1) 名 称 **大館市立鳥潟会館**（TEL46 - 1009）
- (2) 所 在 地 大館市花岡町字根井下156
- (3) 面 積 敷地 8,191.08㎡ 建物 791.00㎡
- (4) 建 物 構 造 木造一部二階建
- (5) 施設の概要 主屋（大広間、和室仏間、台所、茶室(2F)、離れ化粧室、ほか）、
四阿、茶室、茶室待合、社殿、表門、中門、郷土資料庫（土蔵）、
庭園
- (6) 管 理 運 営 大館市教育委員会（歴史文化課）
- (7) 開 館 時 間 午前 9 時～午後 5 時（11月～ 3 月は午前 9 時～午後 4 時）
- (8) 休 館 日 毎週月曜日（この日が祝休日の場合は翌日） 年末年始（12/29～1/3）
- (9) 使 用 料 金

区 分	使用料（1時間につき）
大 広 間	550円
和 室（大）	220円
和室（小）一室につき	110円
離 室	110円

暖房料は、実費相当額とする。

(10) 利 用 状 況（令和 6 年度）

諸会議、研修会、お茶会等にも利用されている。

利用人員 4,419人（1 日平均 14人）



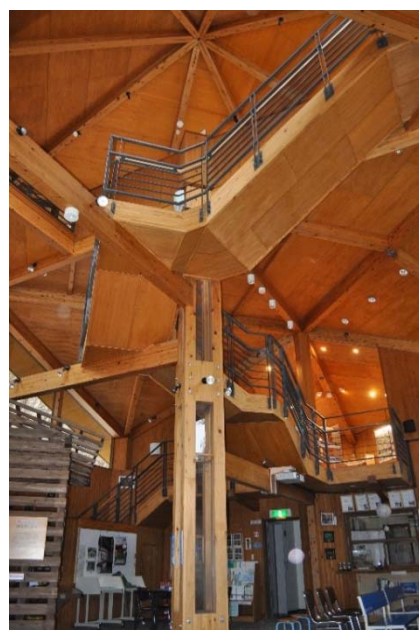
大-③③

長 走 風 穴 館

長走風穴館は、風穴の不思議を体感できるエコミュージアムである。館内には、展示パネル、ミニシアター、情報コーナーなどがあり、夏季は、風穴から引き込んだ天然の冷気で全館を冷房している。3階から屋外の散策路に出ると、高山植物群落（国指定天然記念物）や風穴倉庫（跡）を見学できる。

平成7年度から3か年で文化庁の天然記念物整備活用補助事業で建設し、平成10年4月3日から公開している。平成29年度には観光庁の訪日外国人旅行者受入基盤整備事業費補助金で、建物の改修、展示替え（多言語化）を行い、平成30年4月1日リニューアルオープンした。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 名 称 | 長走風穴館（TEL51 - 2005） |
| (2) 所 在 地 | 大館市長走字長走362 - 6 |
| (3) 開 館 | 平10. 4 . 3 |
| (4) 設 計 | (株)プレック研究所 |
| (5) 施 工 者 | 建 物 工 事：(株)花岡土建・沓澤建設
機械設備工事：(有)木次谷設備
展 示 工 事：(株)学研 |
| (6) 面 積 | 敷地 2,057m ² 建物 404.55m ² |
| (7) 建 物 構 造 | 木造一部鉄筋コンクリート二階建 |
| (8) 総 事 業 費 | 338,403千円 |
| (9) 施設の概要 | 風穴倉庫 85.12m ² 、風のふしぎ（廊下）45.18m ² 、1階展示室 173.34m ² 、
2階情報コーナー 100.91m ² |
| (10) 管 理 運 営 | 大館市教育委員会（歴史文化課） |
| (11) 開 館 期 間 | 4月1日～11月30日（冬期間は閉鎖） |
| (12) 開 館 時 間 | 午前9時30分～午後4時30分 |
| (13) 休 館 日 | 毎週月曜日（この日が祝休日の場合は翌日）ただし、6～8月は休館日なし |
| (14) 入 館 料 | 無料 |
| (15) 利 用 状 況 | （令和6年度）
入館者数 7,283人（1日平均 33人） |



比-④

比内町郷土民俗資料館

秋田県でも有数の穀倉地帯である旧比内町にふさわしく、農具（万石・千歯こき・杵すり器・唐箕）など330点余りが展示されている。機械化が進んだ現在の農業と比較し、当時の農業がいかに重労働であったかが偲ばれる。民家コーナーには囲炉裏を囲む老夫婦の彫刻を配し、てどり・飯台・水がめ・タンス・衣類などを展示し、昔の農家を復元している。

- | | |
|-------------|--|
| (1) 名 称 | 大館市比内町郷土民俗資料館（TEL43-7141 大館市立比内公民館） |
| (2) 所 在 地 | 大館市比内町扇田字庚申岱8（大館市立比内公民館内） |
| (3) 開 館 | 昭和55年（1980）4月1日 平成21年（2009）4月1日 館内移転リニューアル |
| (4) 面 積 | 142.43m ² |
| (5) 建 物 構 造 | R C 造 平家建 陸屋根 |
| (6) 施設の概要 | 展示室 142.43m ² |
| (7) 管 理 運 営 | 大館市教育委員会（歴史文化課） |
| (8) 開 館 時 間 | 午前9時～午後5時 |
| (9) 休 館 日 | 第3月曜日、年末年始（12/29～1/3） |



比―⑤

民 舞 伝 習 館

- (1) 名 称 大館市民舞伝習館 (TEL56 - 2312)
- (2) 所 在 地 大館市比内町独鈷字大日堂前10
- (3) 開 館 昭和59年(1984)4月
- (4) 面 積 敷地 660m² 床面積 354.9m²
- (5) 建 物 構 造 鉄骨造2階建
- (6) 施設の概要 1階...事務室、資料室 144.3m²
2階...研修室(舞台付) 控室、納戸 210.6m²
- (7) 開 館 時 間 資料室 午前9時～午後4時
研修室 午前9時～午後9時
- (8) 休 館 日 月曜日(この日が祝休日の場合は翌日) 年末年始(12/28～1/3)
- (9) 使用料金

区分 / 時間	使用料(1時間につき)
研 修 室	550円

暖房料は、実費相当額とする。

- (10) 利用状況(令和6年度)
利用人数 124人

田―⑤

小畑勇二郎記念館

- (1) 名 称 大館市小畑勇二郎記念館 (TEL54 - 2230)
- (2) 所 在 地 大館市早口字堤沢15-37
- (3) 開 館 昭和56年(1980)1月27日
- (4) 面 積 敷地面積 1,167.5m² 床面積 279.54m²
- (5) 建 物 構 造 木造一部2階建銅板葺
- (6) 施設の概要 展示室、ホール、研修室、事務室
- (7) 開 館 時 間 午前9時～午後4時
- (8) 休 館 日 月曜日(この日が祝休日の場合は翌日) 年末年始(12/29～1/3)
- (9) 使用料金 18歳以下無料、一般100円(15人以上の団体 1人50円)

- (10) 利用状況(令和6年度)
利用人数 114人

大-③④

桜 櫓 館 (国登録有形文化財)

桜櫓館は、大館町長を務めた櫻場文蔵氏が昭和8年(1933)に建てたもので、たびたび大火に見舞われた大館旧市街地にあつて、奇跡的に残った昭和初期の貴重な木造建築である。櫻場文蔵氏は、秋田犬保存会の第3代と第6代の会長を通算14年務め、秋田犬保存会の礎を築き、秋田犬の発展に大きく寄与した。

建物は木造2階建、洋室を備えた和風住宅で、四方にガラス窓を配した展望台は、2階の屋根から突き出るように見える特徴を持ち、複雑で変化に富んだ外観である。内部は杉の良材をふんだんに使い、質の高い空間が創出され、建具や付書院に優れた技能が発揮されている。

現存する棟札によると設計者は石田常吉・小野熊蔵、大工棟梁は越後甚吉である。

平成11年(1999)7月に国登録有形文化財に登録された。

- (1) 名 称 **大館市桜櫓館** (都市計画課 TEL43-7135)
- (2) 所 在 地 大館市字中城13-3
- (3) 登録年月日 平成11年7月8日
- (4) 設 計 小野 熊蔵・石田 常吉
- (5) 棟 梁 越後 甚吉
- (6) 面 積 敷地 1,136.89㎡ 建物 310.26㎡
- (7) 建物構造 和風住宅 木造二階建(展望台付)
- (8) 施設の概要 大広間、洋室、和室(二階)、展望台、庭園
- (9) 管理運営 大館市(都市計画課)
- (10) 開館時間 4月～10月 午前10時～午後5時
11月～3月 午前10時～午後4時
- (11) 休 館 日 毎週月曜日(この日が祝休日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)
- (12) 入 館 料 無料
- (13) 使用料金

区 分	大広間(32.5帖)	和室(8.0帖)	洋室(7.0帖)	予備室(6.0帖)
使用料	440円(1時間)	110円(1時間)	110円(1時間)	110円(1時間)
暖房料	実費相当額			

- (14) 利用状況 (令和6年度) 来館者数 6,353人 (見学者、貸館使用者)

